

みえの子どもたちの家庭学習の習慣化を ～やる気を引き出し、自ら学ぶ習慣を身につけるために～

令和7年4月に小学校6年生、中学校3年生を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」の調査結果をお知らせします。

子どもたちのやる気を引き出し、自ら学ぶ習慣を身につけられるよう、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの学力を育んでいきましょう。

学習習慣等を身につけるために

家庭学習を習慣化することで、がんばりめく力や授業への集中力が高まります。また、いろいろな学習分野への興味・関心も高まります。

子どもたちに関わり、励ましながら、学びと育ちを支えていきましょう。

一緒にルールづくりを



- 家庭での学習時間を確保しましょう。学習時にはテレビを消すなどの環境づくりも大切です。
- 子どもたちが、ゲームやスマホ、インターネットを適切に使用できるよう、お子さんと話し合い、使用時間などの家庭でのルールづくりに取り組んでいきましょう。

子どもと本をつなごう



- 手の届くところに本を置くなどの工夫をしたり、読書の時間を設け子どもと一緒に本を読んだり、本について話し合ったりするなど、「家読（うちどく）」*に取り組みましょう。

*「家庭読書」の略語で「家庭ふれあい読書」を意味し、家族みんなで読書することで家族のコミュニケーションを深めることを目的とした読書活動です。

早ね早おき朝ごはん



- 毎日同じぐらいの時刻に起床・就寝するなど、規則的な生活習慣を身につけることが大切です。
- 「おはよう」から始まり「いただきます」「行ってきます」と、一日を気持ちよくスタートさせましょう。

子どもをほめる機会を



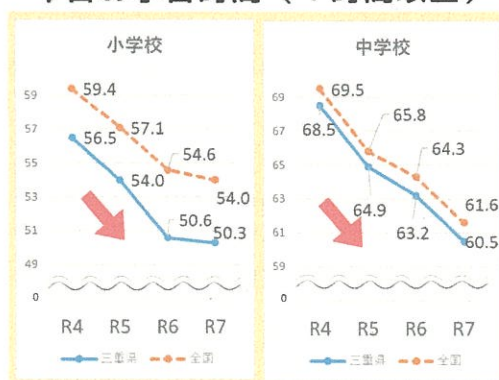
- 子どものやろうとする意欲や取り組んでいる過程のがんばりを認め、励まし、ほめていきましょう。
- 「なぜかな?」「どうしてそうなるのかな?」などの声かけが、疑問に思ったことを調べる習慣につながります。

家庭での時間の使い方は?

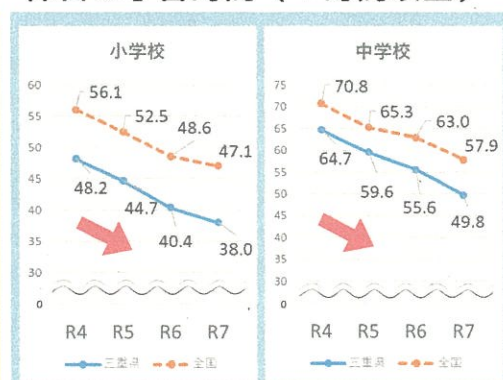
授業時間以外に1時間以上学習する児童生徒が年々減っています。



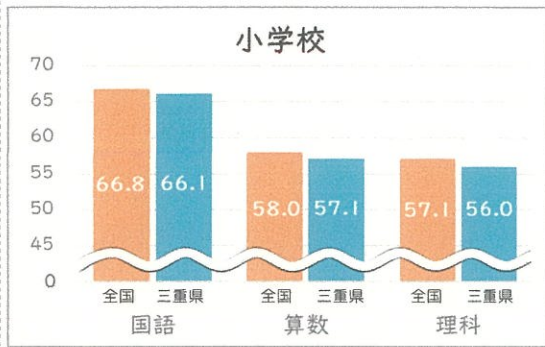
平日の学習時間（1時間以上）



休日の学習時間（1時間以上）



子どもたちの各教科の平均正答率は？



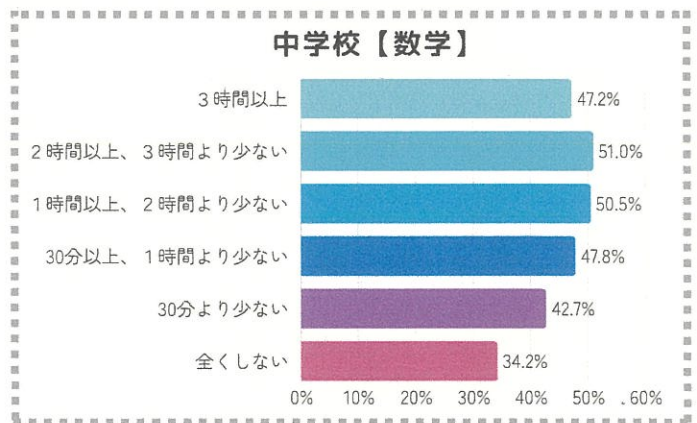
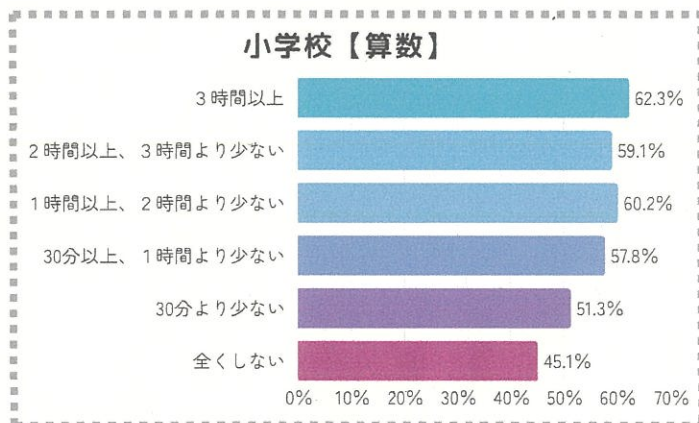
中学校平均IRTスコア（理科）

全国	503
三重県	498

IRT
児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して、分析し、児童生徒の学力スコアを推定する。
IRTスコア
IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すもの。

「平日の学習時間」と「平均正答率」の関係

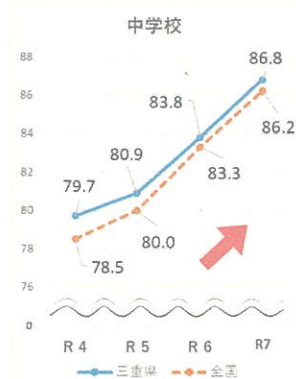
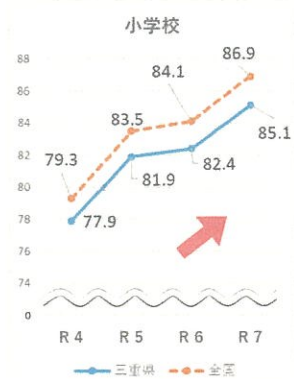
学校の授業時間以外での学習時間が長い子どもたちほど、教科の平均正答率が高い傾向が見られます。



学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）についての回答に対する算数・数学の平均正答率。

子どもたちの自己肯定感とは？

「自分には、よいところがあると思う」と回答した割合が年々上昇しており、自己肯定感が高まっています。



自己肯定感



「わかった」「できた」という達成感の積み重ねが大切です。



みえの学力向上県民運動ホームページ

子どもたちの学習状況や、家庭学習を習慣化するためのアドバイス、家庭で活用できる資料を紹介する動画を掲載しています。

アクセスしてね！

三重県教育委員会
マスコットキャラクター
「みえびい」

